

『鳥の歌、テキストの森』刊行記念トークイベント

# 石牟礼文学と自然風景をめぐって

日時 2023年3月11日(土) 16:00-18:00

会場 Gallery Cafe ULTRA

広島県尾道市土堂 2-3-24 JR 尾道駅から徒歩 10 分



『鳥の歌、テキストの森』より  
三井田盛一郎「花と鳥」

水俣病事件をテーマにした『苦海浄土』で知られる作家・石牟礼道子はその文学世界に豊穡な自然を描き込み、不知火海を飛び交う海鳥はもちろんのこと、森の湖畔に声を響かせるふくろうをはじめ、歌う鳥、歌わない鳥、飛ぶ鳥、飛ばない鳥のイメージを幾重にも散りばめています。『鳥の歌、テキストの森』(春秋社、2022年)に関連するいくつかの音楽も聴きながら、石牟礼文学とその自然風景にフォーカスを当て、森や公園を散歩しながら、鳥の歌を聴くようにいま本を読む可能性について、著者が語ります。

登壇者 高山花子(たかやまはなこ)

1987年北海道生まれ。鳥の歌への関心から、大江健三郎や石牟礼道子、泉鏡花といった作家の文学作品にあらわれる鳥のモチーフを読み解き、2022年7月、『鳥の歌、テキストの森』を上梓。現在、東京大学東アジア藝文書院(EAA)特任助教。歌や音楽、音響がどんなふうにかかれているのか、興味をもって研究をしている。専門はフランス思想。